

「多自然川づくりポイントブックⅢ 中小河川に関する河道計画の技術基準;解説」 発売のお知らせ

はじめに

平成18年に「多自然川づくり基本指針」、平成20年に「中小河川に関する河道計画の技術基準について」(以下、「技術基準」という。)が通知されました。これら通知の解説書として、学識者、行政関係者より成る「多自然川づくり研究会(代表:九州大学大学院 島谷幸宏教授)」では、多自然川づくりポイントブック(平成19年)、同ポイントブックⅡ(平成20年)をシリーズで作成してきました。

この度、平成23年10月に発行されたポイントブックⅢでは、技術基準の改定(平成22年)に伴いポイントブックⅡの内容に見直しを加え再編集するとともに河岸・護岸・水際部に関する具体的な解説を加え、多自然川づくりにかかわる担当者がこの一冊で「河道計画の基本から水際部の設計まで」の全体を理解できるよう工夫しています。

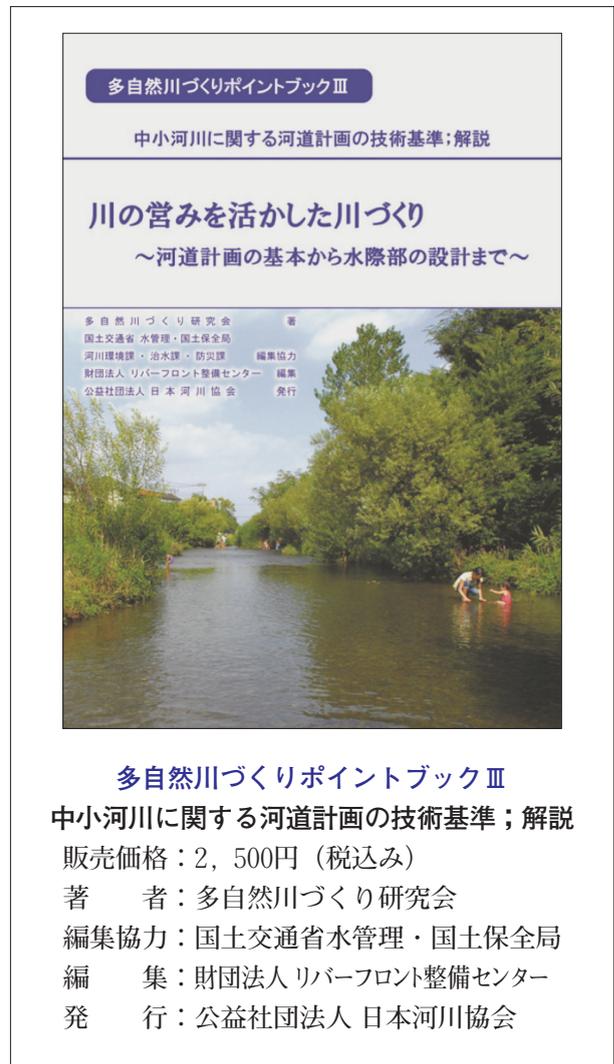
多自然川づくりポイントブックⅢの内容

本書のポイントは、

1. 技術基準改定(平成22年)の要点である「河岸・護岸・水際部の計画・設計」について、河岸防護と河川環境の総合的な視点から、自然環境を考慮した計画・設計のポイントや護岸の考え方について具体的な解説を行っています。
2. 多自然川づくりの実現のためには、河道の平面・縦横断面の設定から河岸・護岸・水際部の計画・設計まで、一連で検討することが重要であることから、「ポイントブックⅡ」の内容をも取り込み、必要な見直しを加え再編集しています。
3. 「技術基準」で通知された内容を具体的に解説するとともに、実際の現場で遭遇するであろうと想定される様々な状況に対して、通知の内容を適用する場合の工夫の仕方を、モデル計画集として例示し、担当者の方々の悩みに答えられるものとなっています。

本書は、公益社団法人日本河川協会にて販売しております。

多くの川づくりの現場で本書を上手に活用していただき、全国各地でより良い川づくりが進むことを期待しています。



多自然川づくりポイントブックⅢ 中小河川に関する河道計画の技術基準;解説

販売価格: 2,500円(税込み)

著者: 多自然川づくり研究会

編集協力: 国土交通省水管理・国土保全局

編集: 財団法人リバーフロント整備センター

発行: 公益社団法人日本河川協会

ご購入方法

多自然川づくりポイントブックのご購入に際しては、公益社団法人日本河川協会ホームページで公開されている購入申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申し込み下さい。

申込先: 公益社団法人 日本河川協会

〒102-0083

東京都千代田区麹町2-6-5

麹町E.C.Kビル3F

TEL: 03-3238-9771

FAX: 03-3288-2426